

臨床工学部

■ スタッフ

部長（肝胆膵・移植外科科長） 伊佐地 秀司
 副部長（臨床工学技士） 岩田 英城

医師数	併任	1名
技師数	常勤	8名
	非常勤	11名
事務職員		1名

■ 臨床工学部の特色

臨床工学部は医療機器管理部門、血液浄化部門、中央手術部門、光学診療部門、循環器・放射線治療部門、救急集中治療部門の6部門に臨床工学技士を配属しており、高度医療機器の操作および管理を行っております。

さらに24時間の院内待機・院外待機体制を実施し、各業務（一部を除く）に即時対応できるようにしております。

医療機器管理部門

■ 部門の特色

人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプなどの医療機器を中央管理し、保守点検を実施することで、常に安全な状態で使用できる体制を整えています。また、病棟で人工呼吸器を使用している患者様がられる場合には、病室を訪問してチェックを行い、医療事故の防止に努めています。スタッフを対象にした定期的な院内勉強会等の実施も積極的に行っております。

2011年よりICタグによる医療機器管理システムを導入し機器の位置情報を管理することで円滑な機器運用を行っております。

血液浄化部門

■ 部門の特色

腎不全に対する血液透析療法ならびに、各種難治性疾患に対する血漿交換療法や吸着療法を行っております。血液透析用患者監視装置は、10台あり、そのうち3台は血液濾過透析が可能な最新の装置となっております。その他の装置は、血漿交換療法ならびに持続的血液濾過が可能な装置を2台、持続的血液濾

過装置を5台、血漿吸着療法専用装置を1台及び血液吸着療法専用装置2台となっております。透析装置の保守管理や透析液の水質管理に重点を置き、患者様に安心して治療を受けていただけるよう努力しております

中央手術部門

■ 部門の特色

手術には多くの医療機器を使用します。その中には、人工心肺・内視鏡機器・ナビゲーションなどの特殊な機器があり、これらの操作・保守管理を臨床工学技士が行います。多種多様な機器が存在する手術室で、医療機器を安全かつ効率的に運用することを目標に日々業務に取り組んでいます。

循環器・放射線治療部門

■ 部門の特色

PCI（年間約300例）では、IVUS操作のほか、万一、血行動態が破綻した場合に備えていつでもPCPS・IABPを施行できる体制を整えています。その他、カテーテルアブレーション（年間約100例）では高周波発生装置や心腔内三次元立体画像診断装置等の操作、ペースメーカー・ICD・CRT-D植込み（年間約60例）ではアナライザ、プログラムの操作を行っております。ペースメーカー外来は約400名近い患者様のフォローアップを行っております。

救急集中治療部門

■ 部門の特色

救命救急センターでは救急外来と総合集中治療センターがあり、呼吸療法、急性血液浄化療法、補助循環などの業務に携わっています。また、センター内の医療機器の管理や呼吸療法関連物品の管理なども行い、高度先進化する医療を、より安全なものとするよう業務に努めています。ドクターヘリも導入され、ヘリ内の機器のトラブル対応をはじめ、補助循環装着患者の搬送などにも臨床工学技士が関わっています。

光学医療診療部門

■ 部門の特色

光学医療診療部では内視鏡検査及び内視鏡治療（早期癌内視鏡的粘膜切除術、大腸ポリープ切除術など）

を行っており、その中で臨床工学技士は内視鏡スコ
ープの保守点検、治療機器の操作、処置具の管理及
び画像ファイリングシステムの管理を行っています。

学会認定資格取得状況

透析技術認定士	6名	6名
体外循環技術認定士	4名	4名
3学会合同呼吸療法認定士	6名	6名
臨床ME専門認定士第1種ME技術者	2名	2名
第1種ME技術者	2名	2名
第2種ME技術者	14名	14名
医療機器情報コミュニケーター(MDIC)	1名	1名